

文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA

石川県文教会館 2021.2

No.83



— 特集 —

1 頁：コロナ禍の学校現場の課題に全力
2・3頁：インタビュー「人」

石川県教育委員会 教育長 徳田 博氏
漆芸作家 スザン・ロス氏

コロナ禍の学校現場の課題に全力

石川県教育委員会 教育長 徳田 博



昨年4月に教育長を拝命し、早いもので1年近くが経過しようとしています。教員の皆様には、昨年4月、5月の臨時休校中の学びの保障、再開後は、授業の遅れを取り戻すための夏休み期間中の授業や、様々な学校行事の工夫など、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、日々奮闘されていることに敬意を表します。

コロナ禍の学校現場の状況を自分の目で確かめるため、これまで、すべての県立学校を訪れました。休校期間中のオンライン学習の様子、分散登校や学校再開後の状況を確認し、学校長から現場の苦勞をお聞きしました。

6月補正予算では、新型コロナウイルスの感染対策や熱中症対策の備品、スクール・サポート・スタッフや学習サポーター配置の予算を措置しました。なかでも、スクール・サポート・スタッフは、要望のあった全ての小・中・高校・特別支援学校に配置し、学校現場からは「大変助かっている。来年度も配置してほしい」という声を数多くお聞きしており、今後も、学校の感染対策をサポートしていく必要があると思っております。

GIGAスクール構想により、本年度中には、小中学校には1人1台、高校は3クラスに1クラス分の端末が配備されます。ICTはあくまでも「ツール」であり、GIGAスクール構想の目的は、ICTを活用し、質の高い学びを実現することにあります。

目的達成のためには、教員が一日も早くICT活用のスキルを高めることが不可欠です。県教員総合研修センターでは、昨年秋からオンデマンド配信や、学校の要望に応じて、出前型研修を実施していますが、来年度は、研修を強化していきたいと考えています。

具体的には、まず、校長や教頭等の管理職の意識改革が不可欠であることから、早期に管理職向けの研修

を行います。そして、GIGAスクール構想の実現には、何よりも、各校での校内研修の充実がカギであり、校長が校内研修を先導する「推進リーダー」を指名し、リーダー向けの研修を行うほか、教員全般を対象とした自主研修向けのオンデマンド配信の充実や、研修センターの指導主事が学校に出向く出前型研修の充実も図っていきます。

教員の多忙化の改善も大きな課題です。3年前に、県教委、市町教委、校長会、高体連、中体連など関係者からなる「教職員多忙化改善推進協議会」を立ち上げました。「多忙化改善に向けた取組方針」を策定し、この方針を拠り所に、着実に取り組みを進めてきました。時間外勤務が月80時間を超える教職員の割合は、小学校は、取組前の平成29年度の10.8%から昨年度は6.2%に、同様に中学校は、37.3%から28.0%に、全日制高校は14.7%から6.9%に低下し、一定の効果が出ていますが、多忙化の解消までには至っていない状況です。今後とも、保護者や地域の方々の理解と協力をいただきながら、関係者が問題意識を共有し、「取組方針」に盛り込んだ具体的な取り組みを着実に実行に移していくとともに、国に対し、定数改善を働きかけていく必要があると考えております。

コロナ禍の中、今年度の高校生の就職状況については、求人数は減少しているものの、現在の内定率は昨年度並みであり、安堵しております。一方、県内企業の経営者の方々からは、最も生徒に求めることは、「コミュニケーション能力、忍耐力、そして、人間力」であると、異口同音にお聞きしており、肝に銘じておかなければなりません。

「教育とは心に火をつけること。ただ、自ら燃える教員でないと、火をつけることはできない。」過日、人間学をテーマとした講演会を聞く機会があった際、印象に残っている言葉です。コロナ禍という未曾有の事態のなか、「燃える教員」が、日々奮闘できるよう、学校現場の声をしっかり受け止めながら、微力を尽くしていきたい、そんな思いを強くしております。



漆芸作家 スザーン 回スさん

イギリス生まれ。1984年22歳で漆と出会い来日。1990年より、輪島漆芸技術研修所に通い、師を得て、10年かけて漆器の工程のほぼ全てを手がけられる技術を習得した。その後、独自の作品を生み出し、石川県伝統工芸展に多数入選している。独創的で美しく、圧倒的な存在感を持つ作品が評価を得るようになり、全国的にその名が知られるようになった。既存の輪島塗の概念にとらわれず活性化させ、進化した新しい輪島塗を国内外に発信することを目指し、作品づくりに取り組んでいる。また、作品の制作、展示だけでなく漆芸術を守っていく活動（教育普及活動・講演・漆の体験講座・書籍の出版）に取り組んでいる。

インタビュアー 文教会館 館長 堀田 葉子



館長：漆芸の道を選んだきっかけ、思いを聞かせてください。

スザーン：大学生の時に美術館で尾形光琳の硯箱を見て、一目惚れしました。展示会では、日本の国宝など立派な作品が並んでいたと思います。当時は、日本に全く興味が無く、漆のことも全く知りませんでした。まず、

英語で書かれた漆に関する本を探しましたが、日本の大使館へ行っても何も情報が得られませんでした。そこで、実際に漆芸に触れたいと、日本へ行く決心をしたのです。最初は、ペンキ塗りのようなものだと思っていたので、ペンキ塗りなら時間がかかっても半年ぐらいだという気持ちで日本へ来ました。それが37年前の1984年の事です。東京で漆の先生を捜しましたがいませんでした。それでも、日本の美意識を学ぼうと習字と墨絵を習いました。漆芸のことは諦めきれず、輪島に何度も足を運び、弟子入りさせていただきをお願いしましたが、女性はダメ、外国人はダメと断られました。でも、漆芸の道は諦めませんでした。そして、漆芸研究所を紹介してもらい入学試験を受け合格し、やっと漆を学ぶことにたどり着きました。漆に触るまでに5年かかりました。

館長：女性や外国人の方にとって、職人の道というのは非常に厳しい道だと思います。普通は諦める方が多いと思いますが、諦めてイギリスに帰りたいと思った事はありませんでしたか。

スザーン：よく聞かれますが、辞めるという選択はありませんでした。漆塗りができるかどうか分らなくて不安もありましたが、漆が、ただものすごく美しく、どうしてもやりたかったのです。そして、研究所に入り、輪島塗の奥深い文化が分かってきたのです。玉葱のように、一枚の皮をめくったら、また、一枚の皮があり、漆でどのような表現ができるのかおもしろくて、やりたい事が次々と出てきて続けるしかなかったのです。



館長：漆芸を極めることへの思いを感じます。昨年、金沢21世紀美術館で開かれた現代美術展での入選作品を拝見しました。今までにない和紙を使った新しい漆の表現に挑戦されましたね。素晴らしい作品だと思いますが、スザーンさんが新しいデザイン・技法に挑戦するには、輪島塗に対する強い意志と勇気が必要だったと思いますが。

スザーン：私の輪島塗に対する思いや、輪島の町おこしへの思いが理解を得られず、大変悔しい思いをしたことがあります。家に帰って大泣きしたこともありました。そんな時、娘が「ママらしくない、ママ立ち直って」と言ってくれました。その娘の言葉に救われた私は、自分自身が今まで学び、そして身につけた技術で新しい事への挑戦と、冒険を始めることを決心しました。日本の重要な文化であり、伝統工芸である輪島塗を尊重しつつ、輪島塗が多くの人に受け入れられるよう、新たな発想で作品作りに取り組みたいと思ったのです。そして、若者が輪島塗を身近な物として興味を持ってくれればと思います。そのことが、輪島市の町おこしと日本文化の発展に繋がればと願っています。

館長：漆塗りの物は貴重な道具として日常使いをせず、しまい込み、若者の目に触れることも少なくなりました。輪島塗が、誰も触ったことのない貴重な物として扱われ、有名な美術館に保存されて終わることがないよう、若者が輪島塗に触れ、日本の文化・伝統を受け継いでくれればと思います。



スザーン：日本の文化は、非常に不安定な状態であると思います。これまで、30年以上漆芸に携わってきて、様々な課題もわかってきました。まず、かなづくり、はけづくり、筆作り、炭焼きなど、私たちを支えている職人さんが弱って来ている。続けたくても、そ



れだけでは、生活ができなくなっています。ですから、日本の文化・伝統を守り継承していくためには、日本の政府が責任を持ち、県が協力し、市がアイデアを出し合って実行することが重要だと考えます。私一人



の力ではどうにもならないことが多く、悔しい思いでいっぱいです。漆の文化は日本の文化であって、人類の文化の一部でもあります。人類のためにこの素晴らしい日本の文化を保存するべきです。

そのために、国や県、市町が、どうすればこの伝統が廃れないかを考え、行動に移すべきです。そして、同時に、日本にある輪島塗の技術を世界で共有できるようにしてほしいと思います。輪島塗を海外へ発信し、海外からの思いを受け入れること、そして、輪島塗を知らない若者を輪島塗の世界へ招く必要があると言えます。

館長：若者にこの伝統的な日本文化の魅力を紹介するにはどうしたらいいでしょう。

スザーン：たとえば、奥能登の町おこしの一環として、観光客の誘致に力を入れるべきだと思います。能登空港を利用してもらい、観光客に奥能登の工芸・食べ物・景色・祭りを観てもらおうのです。何かしら、輪島に立ち寄っていく、そのような奥能登一周ツアーがあれば



と思います。本当の輪島塗を全国の人に知ってもらいたいです。それから、輪島塗の職人の育成にお金を費やすことが大切だと思います。腰掛

掛けの職人ではなく、本物の職人の育成に町を挙げて協力していく事が必要と考えます。今、日本では、日本人として、日本の文化について興味を持ち、日本の文化を取り入れようとする思いやアイデンティティをもつ若者が多くなってきています。しかし、若者がどれだけ漆芸に興味を持ち仕事として続けて行きたくても、今の日本の教育やシステムでは若者は文化の中で生活していくことはできません。日本では、大学へ行き、安定した職に就くという道が最善であるという教育が中心だからです。でも、今の世の中で安定した仕事は一切ないのです。それならば、人の役にたち、自分が納得できる仕事に就くべきです。自分にあっている道を大事にしてほしいと思います。

館長：自分自身が考えて選び道を決めることが大切ですね。

スザーン：今、安定した人生は一切ないです。明日、地震になるかもしれない、コロナ、交通事故に遭うか

もしれない、ガンになるかもしれない。明日のことがわからない、だからこそ、今日一日を一生懸命生きてほしいと思います。一生懸命やるには、「わがまま」で動いてはいけません。「わがまま」は「自由」と捉えがちですが、「自由」には責任がともないます。だから周りを意識して、傷つけない、迷惑をかけず、社会がうまくいくように、みんなが安全に行くように、自ら行動し、自分で考えて、自分が正しいと思っている道を、一歩ずつ歩み続けることが大事です。自分の人生は自分の宝物。親の人生や先生の宝物ではありません。自分の宝物だから、好きな道を責任を持って選んでください。

館長：それでは最後に今後の目標を教えてください。

スザーン：漆の文化は日本の文化です。全国の漆の産地を結ぼうと思っています。一本の漆の木にいろいろな枝があって、それが青森、岩手、京都であり、奈良、輪島であり、こんなに素晴らしい文化が日本にある事を紹介したいので



す。漆文化の発展のため、今、全国の志のある人々と協力し合っています。そして、新しい発想で作品づくりに挑戦しようと思っています。漆芸を始める切っ掛けとなったロンドンの展示会に金箔と日本画の屏風がありました。まだ、屏風を創っていません。子供が二十歳になって、じゃ残りの人生、これからどうしようかなと考えたとき、やはり、新しいことに挑戦したいと思いました。新しい物を創るときは、漆も凄く使うし、運ぶのも大変、売るのも大変、誰も買ってくれないかなと凄く不安です。でも、誰より自分のお客さんが大事で、展示会での自分の新しい作品に対する反応を楽しみにしています。私は、二十二歳の時、片道切符で日本に来ました。これ以上の冒険はありません。そして、その冒険は今も続いています。

館長：はじめて漆にあった時の感動を忘れず、スザーンさんの新しい感性と発想力で、素晴らしい作品づくりに挑戦してください。



事業報告

教育資料収集整理事業

「いしかわ教育ウィーク」関連行事

令和2年11月1日(日)~7日(土)

文教所蔵第208回教育資料ロビー展

文教会館所蔵 **求められる探究型学習** ~これからの時代に必要な力とは~

探究型学習を突破口に
 これからの時代に必要な力とは？
 新学習指導要領から考えてみよう。

〈新学習指導要領で目指すこと〉

○「社会で生き抜く力」を育てる事の必要性が盛り込まれています。

➡ **探究型学習の活用**

探究型学習とは「**自ら学び自ら考える力**」を育てる学習

これからの時代に必要な力とは、**社会で生き抜く力**

社会で生き抜く力
 — これからの時代に必要な力とは —

- 実際の社会や生活で生きて働く、**知識及び技能**
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする、**学びに向かう力、人間性**など
- 未知の状況にも対応できる、**思考力、判断力、表現力**など

「総合的な探究の時間」の取組み

★2018年に改訂され順次移行が予定されている高校の学習指導要領では、従来の「**総合的な学習の時間**」に替えて「**総合的な探究の時間**」とし、探究型学習の重要性を打ち出しました。



今回は文教会館に所蔵されている書物より、県内高等学校の「探究型学習」への取り組みが記載されている書物等を紹介しました。

県庁19階ロビー展示

期間：令和2年8月25日(火)~9月3日(木)

石川県文教会館教育資料展 高等学校・特別支援学校の教育活動の紹介

高等学校・特別支援学校の令和元年度刊行物（生徒会誌・学校新聞・学校案内）を展示しました。来場者は、母校の様子に興味深く観て行かれました。



教育史セミナー 「前田利常の隠居政治 —将軍家光親政と天徳院の子供たち— 令和2年11月6日(金)

講師：石川県金沢城調査研究所 所長 木越 隆三 氏



将軍の躰(むこ)として13歳で藩主となり47歳で隠居した利常。三人の男子(子供)はみな将軍秀忠の外孫であり新将軍家光の実甥でした。三代家光時代に展開した利常のイレギュラーな隠居政治を金沢城調査研究所長の木越氏に紹介していただきました。

【感想】 前田利常を中心にした加賀百万石の威勢について興味深く学ぶことができました。徳川家との関連が深く大切な大名として扱われたこと、珠姫が果たした役割の大きさを実感できました。隠居後は元気になる！！本当に同感しました。

事業報告

第33回 いしかわ県民陶芸展

期間：令和3年1月16日(土)～1月24日(日)

今年の陶芸展はコロナ禍のため、和室大会議室での開催となりました。県内の陶芸愛好家の皆様から数多くの力作が寄せられ、一般57点、青少年116点、招待作品1点の合計174点にのぼり、出品者も5歳から92歳と幅広い年齢層の方に出品いただきました。出品者の皆さまには、コロナ禍の中、作品づくりにご協力いただき感謝申し上げます。

審査員の先生方からは、「出展者の皆さんは、コロナ禍にあっても、悲観的にならず、逆に、作りたいという思いを高め、素晴らしい作品を仕上げられました。大賞には、青少年の作品が選ばれました。作者の強い思いと、素直な心が伝わる渾身の作品でした。」との感想をいただきました。

会期中は、多くの方々にご鑑賞いただくことができ、盛況のうちに幕を閉じました。ご出品いただいた皆様、ご来場いただいた皆様、運営を支えてくださいました皆様方、誠にありがとうございました。

★ 石川県教育委員会賞 2点 ★

● 悠久の息吹

尾山 隆峰 (一般・金沢市)

審査員寸評

自身の人生の中に宿っている色と形で、人を感動させるものがありました。制作時、作品に声をかけている風景が見えるようです。



● 「キリン」

岡辺 紗羅 (青少年・田鶴浜高校)

審査員寸評

美は学ぶものではなく、感ずるもの。見る人に、力強さと作者の前向きな姿勢を感じさせる、素晴らしい作品です。



いしかわ県民陶芸大賞

● 力(ちから) 奥村 季花 (県立工業高校)



審査員寸評

若者らしい作品です。大地を踏みしめていく力強さや、これからの人生を堂々と歩んで行く頼もしさが伝わり、審査員を感動させました。

★ 文教会館理事長賞 10点 ★

【一般】

- オブジェ木一
新谷 弘美
- 炎のキセキ
高木 勇
- 記憶
山本 志保子
- 白萩・桜桃「曙」
野川 志麻子
- 壺「紅葉」
谷 光祥

【青少年】

- ヲタクパス
宮西 のどか
- ゆうえんちランド
蔵 優里
- ネクタイの花ピン
保志場 竣平
- 九谷色絵大皿「ダルメシアン」
小松 沙耶
- 絵付け大皿「梅雨ガエル」
下出 彩華



展示の様子



解説の様子



表彰式の様子



審査会の様子

いしかわ県民陶芸展の表彰式・作品解説の様子をYouTubeで配信しています。石川県文教会館ホームページからご覧ください。

事業紹介

令和3年度 文教国際理解講座のご案内

～ネイティブスピーカーによる異文化理解講座です～

講座名	内容	曜日	講座時間 (100分)
英米文化 初級	挨拶程度の会話をしよう (英検3級程度)	木	10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 準中級	英語で簡単な会話ができるように (英検準2級程度)	火 水 水 木	18:30～20:10 10:00～11:40 18:30～20:10 10:00～11:40
英米文化 中級	英語で日常の会話ができるように (英検2級程度)	火 水 木	10:00～11:40 10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 上級	日本語同様に会話ができるように (英検準1級程度)	火	18:30～20:10
韓国文化 初級	ハングルや韓国文化に親しむ	水	18:30～20:10
中国文化 初級	中国語(標準語)や中国文化に親しむ	水	19:00～20:40

実施期間：令和3年5月～
令和4年2月
対象：教職員・一般・高校生
定員：1講座20名程度
受講料：年額36,000円(年35回)
(教材は実費負担)
応募期間：2021年3月10日(水)
～4月10日(土)



申込方法：文教会館までお問い合わせください。

※当館のホームページから申込書をダウンロードできます。

※応募期間が過ぎても定員に空きのある講座には途中入会ができます。

文教国際理解講座

検索

外国の言葉や文化を学ぶ楽しいひとときをぜひお楽しみ下さい。

令和3年度 文教アートウェイブのご案内

～演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください～

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方に利用料と冷暖房費を無料でホールをお貸ししています(照明設備費等有料)。公演ご希望の方は文教会館事業課までお問い合わせください。



<今後の公演予定>

※公演の日時等が変更になる場合があります。

石川県立金沢伏見高等学校 文化部発表会
◆入場無料

令和3年3月21日(日)
14:00～(開場13:30)

金沢高等学校吹奏楽部 サマーコンサート
◆入場無料

令和3年6月19日(土)
14:00～(開場13:30)

松田 薫子ピアノリサイタル
◆一般1,000円

令和3年8月29日(日)
14:00～(開場13:30)



令和4年度のアートウェイブ公演の募集期間は令和3年5月1日(土)より9月30日(木)まで。お待ちしております!



R2 高橋英子バレエスタジオ



R2 金沢桜丘高等学校吹奏楽部



★応募や公演予定の詳細は、当館ホームページからご覧になれます。公演申込書もダウンロードできます。

令和3年度 「教育文化研究会」募集のご案内

※参加ご希望の方は、文教会館事業課までお問い合わせください

	研究会名	定員	年会費	内容	日時
I	もっと知りたいアジア	10名	3,000円 全6回	アジア文化圏の地理、歴史、時事問題に関心を寄せ、ときにはビーズやアジア料理なども楽しむ。	奇数月第2土曜日 14:00～16:00
II	源氏物語を楽しむ	10名	11,000円 全22回	『源氏物語』の原文をはじめ、さまざまな文献にあたり古典の奥深さを味わう。	第3・4土曜日 10:00～12:00
III	茶道入門教室	10名	11,000円 全22回	初心者のための茶道入門。お茶のいただき方、簡単なお点前、作法を1年間で学ぶ。(流派:表千家)	第1・3月曜日 12:00～16:00
IV	近世芸能研究会	15名	11,000円 全24回	漢詩・短歌・俳句をとおして詩吟を探究する。	第1・3木曜日 18:00～19:00

※文教国際理解講座・文教アートウェイブ・教育文化研究会は、「いしかわ県民大学校」の連携講座です。

事業紹介

教育資料収集整理事業 文教会館教育資料ロビー展のご案内

当財団では、教科書や教育物具・教育文献等の県内の貴重な教育資料の収集保管に努めています。その一環として、当館の1階ロビーで、年間を通し、収集資料や県立学校等の特色ある教育活動を紹介しています。令和3年度は、19回のロビー展（県立学校等55校の出演）を予定しています。当館のロビー展が県民の皆様にとって、教育に対する関心と理解を深める機会となれば、幸いです。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

令和3年度 教育資料ロビー展（予定）

場所：文教会館1階ロビー 入場無料

ロビー展の様子

No.	期 間	展 示 名	内 容
215	4月(4/1~7)	文教会館収蔵資料公開展 ～令和2年度収集品の紹介～	令和2年度の収集資料 PTA連合会三行詩
216	4月(4/12~4/30)	学校の一年をふり返る	令和2年度の高等学校・特別支援学校の刊行物 (学校新聞・生徒会誌等)
県庁 19階	7/20(火)~7/30(金)	石川県文教会館教育資料展 高等学校・特別支援学校の教育活動の紹介	令和2年度の高等学校・特別支援学校の刊行物 (学校新聞・生徒会誌等)
特色ある学校の活動 5月~3月			
No.	期 間	学 校 名	展 示 テーマ (仮)
217	5/8(土)~19(水)	県立工業高等学校 県立羽咋工業高等学校	学校紹介 学校活動紹介
218	5/26(水)~6/6(日)	県立工業高等学校 県立宝達高等学校 県立田鶴浜高等学校	学校紹介 学校紹介 看護師・介護福祉士への道
219	6/11(金)~22(火)	県立金沢泉丘高等学校 県立羽咋高等学校 金沢市立工業高等学校 県立小松高等学校	課題研究紹介 羽咋高校の紹介 金沢市立工業高等学校の取り組み SSH・NSH課題研究紹介
220	6/29(火)~7/11(日)	小松市立高等学校 県立金沢辰巳丘高等学校	学校活動の紹介 大きな明日へ
221	7/16(金)~27(火)	県立金沢二水高等学校 県立羽松高等学校 県立七尾特別支援学校 珠洲分校 県立能登高等学校 県立鶴来高等学校	金沢二水高校の教育活動 羽松高校紹介 学校紹介 学校紹介・生徒作品 学校紹介
222	8/3(火)~15(日)	県立医王特別支援学校 県立七尾特別支援学校 輪島分校 県立門前高等学校 県立金沢錦丘中学校 県立金沢錦丘高等学校	学校紹介 学校紹介 門前高校の活動について 中高一貫教育校 金沢錦丘中学校の特色 本校1・2年生が取り組む課題研究について
223	8/20(金)~31(火)	県立盲学校 県立七尾特別支援学校 県立大聖寺高等学校	盲学校の紹介 学校紹介と作品展示 大聖寺高校紹介
224	9/3(金)~14(火)	県立野々市明倫高等学校 県立金沢西高等学校 県立七尾東雲高等学校	学校紹介 金沢西高校の紹介 七尾東雲高校の紹介
225	9/18(土)~29(水)	県立翠星高等学校 金沢龍谷高等学校 県立七尾城北高等学校	食と農と環境を専門に学ぶ翠星高校 国際姉妹校交流事業の取り組み 学校紹介
226	10/5(火)~17(日)	県立加賀高等学校 県立鹿西高等学校 県立飯田高等学校	加賀高校紹介 鹿高生の活動 学校紹介と作品紹介
227	11月(11/1~11/7)	「いしかわ教育ウィーク」関連行事	
228	11/10(水)~21(日)	県立錦城特別支援学校 県立金沢桜丘高等学校 県立輪島高等学校 県立志賀高等学校	錦城特別支援学校 作品展示 金沢桜丘高校学校紹介 奥能登の魅力を発信する学校 学校活動紹介
229	11/27(土)~12/8(水)	県立金沢伏見高等学校 県立内灘高等学校 県立いしかわ特別支援学校	金沢伏見高校の紹介 学校紹介 可能性に挑戦!
230	12/15(水)~26(日)	県立小松商業高等学校 県立明和特別支援学校 県立金沢向陽高等学校 県立七尾高等学校	学校の取組(概要など) 明和特別支援学校の紹介 学校紹介 SSH・NSHの活動について
	1月	いしかわ県民陶芸展	
231	2/2(水)~13(日)	県立加賀聖城高等学校 県立小松工業高等学校 県立ろう学校 県立金沢北陵高等学校 県立大聖寺実業高等学校	錦城山プロジェクトのとりくみ 学校紹介 学校紹介 金沢北陵高等学校紹介 地域と連携した教育活動
232	2/18(金)~28(月)	県立小松特別支援学校 県立小松瀬領特別支援学校 県立津幡高等学校	学校紹介と作品展示 本校の紹介 総合学科 園芸系列・部活動紹介
233	3/5(土)~15(火)	県立小松明峰高等学校 県立松任高等学校 県立寺井高等学校 県立金沢商業高等学校	学校紹介 学校紹介 学校紹介と作品展示 学校紹介および金商デパートの歩み



県立鹿西高等学校



県立輪島高等学校



県立飯田高等学校



県立金沢桜丘高等学校



金沢龍谷高等学校



県立津幡高等学校



県立いしかわ特別支援学校

★これまでのロビー展の様子は当館ホームページからご覧いただけます。

教育資料ロビー展

検索

施設紹介

文教会館の施設ご利用について — 教育文化の発信に 研修・会議・交流の場 —

新型コロナウイルス感染予防策として、来館者にマスクの着用を求めるほか、手指消毒用アルコールの設置、非接触型体温計の貸出し、ドアノブ・手すり等こまめに消毒液による清掃を実施しています。

研修や会議、交流の場としてご利用ください。一般の方もご利用いただけます。お気軽にお問い合わせください。

各種演奏、ご公演などに適した音響・照明完備のホールです。(590席)



土日曜日にホールを1日(9時~17時)利用して、照明代冷暖房費用を含めて10万円以下でご利用できます。
※楽屋及びリハーサル室のご利用は無料です。

少人数の打合せから研修・講演会まで、用途やご利用人数に合わせて、様々な大きさ・タイプの会議室をご用意しています。



様々な用途にお使いいただける和室のほか、茶室や応接室もあります。

Wi-Fi 機器の設置について



401会議室にWi-Fi機器を設置いたしました。光回線と結んで、ZOOMでのリモート会議等に無料でご利用いただけます。プロジェクター(スクリーン付き、税込み2,200円)と組み合わせてもご利用いただけます。

喫茶コーナー『エース』よりお知らせ

~カウンターセール 開催中~

5人以上で会議室をご利用の際は、5杯以上のご注文で、ホットコーヒー・紅茶が、それぞれ1杯あたり200円(税込み)で提供させていただきます。(土曜、日曜、祝日を除く)。スタッフ一同ご注文をお待ちしております。



ビーフカレーセット
食後のコーヒー付き
650円



喫茶コーナー『エース』ではコーヒー、紅茶など各種飲み物や、トースト、ピラフ、パスタ、カレーライス、カレーうどんなど軽食をご用意しております。

トースト 210円
カレー 390円
ピラフ 360円
カレーうどん 360円
パスタ 360円

当館ホームページで詳細をご覧になれます。街なかのオアシス「文教会館」をぜひご利用ください。

